



キャリアであるそれ以前にあたしはキャリアではない物で構成、その集合が、匂い、なんて謂うか、キャリアではないのだけど、あたしはキャリアで。それが今。

だからスイッチ。それを押すと間抜けな「ほーん」って音が鳴る。そうすると、頭の中に血、その血が泡であったりする。「マジ、太え奴だな」と思ったりする。

トマト、重要なのは酸味。宙にストーンと現れて、落下する。んで、紙。下には紙があって、畳、コンドーム、中、カラーは、高い所から観る。ながーい首を必要とする。するけど、じっとりとした空気なまぬるくて私は叫ぶ「遠く、濡れているんだよ」なぜならなぜならなのだけど、あたしは細切れ、細部まで。

それでもあたしは観るのだと思います。あ、思う。そお、気持ち的に、皮膚がゆっくりと破けて、何は闇。闇。だからあたしはその中に投げ入れる、カフェイン、ヤニ、冷える気がする。している。骨が観えて、汚れた肉、真剣に無様。

ソックス、びしょ濡れで、裸足、成る、またオレンジと青。spれから球。水の上で葡萄が溶けて、いて、広がり、染込む不燃無垢木材に。そして生える腕、黒ずんだ腕、苔にまみれた、揺れている。

頬に小さな傷、うすい、うすーいよね、すべてが無機質なあたしの隣や耳、右耳に侵入、もしくは排出される蜂、羽音の心地、息が重さを持ち、円、あたしが所有する目なんだろうか、な、けど、適当になる感じがして、手当り次第に土を拾う。そんなジョーク、二階、砂糖甘く甘く屋上でならんだ人たちを突き落とすのがバイト、時給九百円、あたし、駅ビル。

害される。そうじゃないって、アスファルトの光、それって謂うのは指先が燃えていてガラスの破片、ちらばるラブホテルの部屋。音頭、最小限の音頭の下で、んだよこの状況、獣のカルシウムが不足していてミルクが堪った底。突かれる写実、穴。逃げる魚の透ける目だから未払いの携帯料金を、愛する、そうなんですか。

「初体験は14歳でね、よく栗山千明に似てるって謂われたんだよね」

「たとえば、それが黒煙だとするじゃん。けど、ほらね、その」全部が吊られていても「月のはじめにあたしは死んでな、潮の味も」

「窓開けたらさ、シャツが冷えて、唇が切れて、泣いたけど明日が昨日になるその一瞬、漂白剤を浴びる、目は閉じない、浴びた感じがしてでね、色情狂な鳥が墜落してて、あたしと同じ声でないているんだ」絹みたいな、爪。

朝な夕な醤油を飲む、朝な夕な醤油を飲む。

場末の羊が首を切られて、がちゃぽんの音。してさ、タール、あたしがあたしが一杯になって溢れ出す清潔な、タール。走って高架下、QPの絵をまだ観ず、でも愛している。ノック、その先のペプシコーラ、三半規管を潰し、それは山道に捨てられた自転車のタイヤ、そのくうきいの、あれってさあ、鏽、鯖、えげつない性行為を皆が眺めている、あたしを眺めているあたしをながめて、いる、あたしのキャリア、はキャリア。

プツと散ってデーツと集まる。それが終りなんだと思う。

鉛、の肌と歯、周囲で懺悔を求める人の姿、けど、分かるんだよねマジで観てみれば誰もだーれもそんな事しちゃいない。半壊の山椒魚を抱きしめて、いるだけ。笑えます。あの手と足に意味は無いのです。眼光の行く先、障子を張り替える、ている、他人の家で乞食の横であたし、茶葉を大量に口に含んで、渴いている渴いている。だからジタバタして、転けたりしている。

ああ、処女処女処女処女処女処女。

生または死。

キャリーキャリーキャリーキャリーキャリー。

キャリーキャリーキャリーキャリーキャリー。

生または死。

処女処女処女。

清潔なんて事は無い、あたしはキャリー。